

町政を問う



吉田 伸 議員

高齢者の生活を援助する オンデマンド・バス運行を!!

制度研究の中で調査を進める

高齢者の生活を援助するオンデマンドバスの運行について、町長の方針は!

吉田 東京大学オンデマンドバスシステムは活用するのにも最適と思うが調査する必要があるのではないかと。他町村の運営も調査対象にすべきと考える。社協の取り組みはどうか。

町長 町では、現在お年寄り等の交通弱者に対して、あゆり温泉を発着場所とした町内循環バスを利用して、町内各地からあゆり温泉周辺への移動は可能であるとも考えられる。

今後とも更に利用者の満足のいくバスになっていたくように、運行頻度や巡回ルートについて今後前向きに検討していきたい。

町社会福祉協議会に委託してのオンデマンド・バスシステムにつきましては、今後利用者のニーズと制度研究の中で調査を進めていきたい。

友好都市川南町の口蹄疫支援事業のその後は?

吉田 川南町の口蹄疫の緊急宣言を受けて、友好都市としての我が町のこれからの町長の方針を伺う。

町長 今般の川南町での口蹄疫感染については8月27日に終息宣言がされましたことに対し、矢吹町としても心より安堵いたしております。

第二弾の支援策として、10月24日(日)に開催される産業祭において「がんばれ川南町応援セール」のブースを設置した。

川南町の地元特産品を販売するとともに、地場産品詰め合わせセットの注文を受け付けるなどの支援を行ってまいりたい。

今後とも、このたびの支援を契機に、さらなる友好の絆を太くし、日本三大開拓地として交流を深めてまいりたいと考えている。

全国学力テストについて町長、教育長の方針を伺う!

吉田 矢吹町の教育を考える会、並びに矢吹中改築事業に関連して町長、教育長に今後の方針を伺う。

三月、六月議会の一般質問の答弁から、小中学校の学力テストについての考えを伺う。

町長 未来を担う子供たちの成長には確かな学力と健全で健やかな心と体の成長が大変重要であり、教育振興に必要な施策は今後も積極的に推進してまいらる。

教育長 各小中学校では、児童生徒の学力や学習状況を多面的に分析し、全国平均と差のある問題の傾向を把握する。

よかった傾向をさらに伸ばし、苦手な点を克服するためにそれぞれ対策を立てるとともに「確かな学力」の向上への取り組みについて、全教員が共通理解を図り弱点の再指導を確実に実施すること等の指導をしている。



健康センターバス

児童数減少の対策は！



鈴木 隆司 議員

推移を見守る

町内小学校の少子化対策について

鈴木 ここ数年の間、卒業して行く児童数より新たに入学してくる児童数が減少している傾向が顕著である。（表参照）さらには各小学校の総児童数にも大きな格差が生じてきている。これから先、こうした問題をどのように考えていくのか。

教育長 各小学校区におきまして、年度により児童数の増減がありますが、おおむね微減で推移するものの安定傾向にある。学区割も定着しており、著しく児童数が減少する小学校も見られないので、学区割の再考、統廃合については現在のところ考えていない。しかしながら、学区割の変更、統廃合は町民生活に多大な影響のある問題であり、充分な議論による町民の皆様の意見の集約も必要な問題であるので、今後も各小学校の推移を見守り、町民の考えを伺いながら、学区割や統廃合について慎重に検討してまいりたい。

ティーボール福島県大会について

鈴木 全国大会出場権を賭けたティーボール県大会が当町で開催されているが、これらの開催意義をどのように捉えているのか。青少年の健全育成や「さわやかな田園のまちやぶきソフトボール大会」の底辺拡大、あるいは町の活性化等のためにも、もっと力を注いでいくべきと考えるが？

町長 当町で県大会が開催できるということは、競

技の普及拡大、青少年の健全な育成のためにも意義のあることと理解しており、ます。今後の大会への取り組みと野球型スポーツであり、ますソフトボール競技の底辺拡大を図るためには、低学年によるティーボール競技の技術習得が大変有効であると考えている。当町においてティーボール競技の授業取り入れはまだされておりませんが、小学校教育課程の中で、それぞれの学校での取り組みとしておりますので、ご理解とご協力をお願いしたい。

「道の駅」構想について

鈴木 先の定例会において町長は、前向きに積極的に考えていく旨の答弁であったが、建設構想の現在の進捗状況は？

また、近隣施設への視察の感想と現段階における建設に対しての町長の考えを改めて伺いたい。

町長 私の道の駅のイメージとしては、従来の道の駅のものから若干離れる部分もありますが、それらの機能にさらに農産物の加工工房、食の体験教室などの機能を加えた農業複合施設としての整備、施設を効果的に運営するためのソフト事業を展開することにより、通過点としての利用から、その施設・事業の魅力を求めた利用がなされるような整備を進めることができるものかと考える。改めて将来の財政シミュレーションを確認しながら、さらに検討を加え、事業内容、スケジュール等位置づけてまいりたい。

入学予定児童数の推移

	矢吹小	善郷小	中畑小	三神小	計
23入学（5歳）	34	66	27	26	153
24入学（4歳）	45	82	21	16	164
25入学（3歳）	35	73	34	26	168
26入学（2歳）	43	62	23	22	150
27入学（1歳）	40	71	34	19	164
28入学（0歳）	47	61	27	23	158
計	244	415	166	132	957

※H22.9.1現在住基(H22.4.1時年齢抽出)より

卒業予定児童数の推移

	矢吹小	善郷小	中畑小	三神小	計
22卒業（小6）	52	75	32	18	177
23卒業（小5）	42	79	29	19	169
24卒業（小4）	59	67	30	27	183
25卒業（小3）	48	88	25	17	178
26卒業（小2）	42	83	32	22	179
27卒業（小1）	36	81	19	17	153
計	279	473	167	120	1,039

※学校基本調査(H22.5.1現在)より



諸根 重男 議員

西山墓園の増設を!

用地、今年度中に契約の締結を図りたい

西山墓園の増設計画は

諸根 現在、空き区画がなく増設の計画をされていると聞くが、その後の進捗状況はどうなっているのか。又どのくらいの面積と何区画ぐらいの増設を計画されているのか。

町民のために本来に必要なものは、多少条件があるとしても、早急に買い求めることも町としての役目であり、仕事であると思う。

町長 西山墓園は現在1042区画あります。すべてを貸し付けております。

これまでに30件ほどの新規貸し付けの申し出があり



西山墓園

ますが、その後要望におこたえすることができない状況であります。

この課題を解決するため、町では区画増設を計画しており、必要な用地の取得に向け、現在、地権者と交渉を進めている。

全体計画では7815㎡で、町有地2681㎡と取得予定面積5134㎡で、全体計画では300区画程度で、年度別に100区画程度、今後、整備してまいりたいと考えております。

町民アンケート調査「こんな町いいな指標」と「まちづくりについて」の結果について

諸根 まちづくりについての要望、苦情が多かった

中、財政再建3ヶ年計画も実績額が8億円以上の106.3%達成したといふことであり、今後は少しでも、要望・苦情が多い中、町民の素朴な小さな声に耳を傾ける姿勢が大切と思うがこのアンケートの内容をどのように感じているか、伺う。

町長 満足と感じる町民の割合が目標準を下回る項目が多数ありました。

現在の景気低迷が住民生活の多方面にわたり影響していることが少なからず反映されたものと認識しておりますが、あらわれた数値などを真摯に受け止め、町からの情報発信が不足したことによる町民への浸透不足、また町民のニーズと総合計画に基づく事業の効果が必ずしも適合したものではなかったことなどが考えられます。アンケート結果を分析し必要とする分野における必要な政策・施策を後期基本計画に反映しなくてはならないと考えております。

若者定住化促進と少子化対策は

諸根 晩婚化が進んでいる中、若者の出会いの場が少ないといふことで、県内の市町村でも出会いの場づくりが喫緊のテーマとなり、自治体主催の婚活事業が広がりをみせさまざまな出会い事業を展開しているが矢吹町の婚活事業はどのように取り組んでいるか伺う。

町長 出会いの場を創出するに当たり、1地域だけでなく、広域的な事業展開が効果的であると考え、白河市及び西白河郡内5市町村で費用負担をしながら平成17年度より「出会い＆ふれあいの会」婚活事業を開催している。

本年度も2回の開催を予定しており、7月には第1回目をホテルサンルート白河で開催し実績としては6組のカップルが誕生し、過去にはこの出会いをきっかけに結婚まで至ったカップルがあると聞いています。

企画経営課長 平成21年度は男子95名、女子91名、カップル数21、平成22年度の1回目は男子46名、女子40名、6組のカップル数ということになっております。